

ニック安藤氏は安藤昇氏の長男ではない！

終戦直後の伝説となっている安藤組組長・安藤昇氏（平成 27 年 12 月没）に関して事実と全く違った風評が蔓延しているようですので取り上げていただきたいと思います。ネットでの誤った情報のせいか、最近では安藤氏の関係者周辺で事実誤認に基づく情報が数多く寄せられており、関係者の方々が困惑しているようです。

具体的には、近年、ニック安藤氏が昇氏の“長男”として昇氏に関するメディア制作活動を積極的に展開していることについて多くの疑問があるようです。

今回は、貴社サイトトップに昇氏の筆書きが掲載されているので、ご理解いただけると思っています。

昇氏が東興業（安藤組）解散後に立ち上げた会社「安藤企画」の複数関係者によると、「ニック安藤は、安藤昇の長男ではない」と口をそろえます。

ちなみに、安藤昇氏の子供の氏名は以下のとおりです。

長男 安藤孝章（昭和 23 年生、平成 28 年没）

次男 安藤章（昭和 26 年生、平成 26 年没）

（ニック安藤氏について）

ニック安藤氏が、過去に昇氏の了解の下で映画プロデュース活動をやっていたのは事実のようです。しかし、途中で会社から離れています。

当時を知る安藤企画関係者（役員経験者）によると、

「ニック安藤は、たしかに昇氏の了解の下、映画製作に携わったことがあります。しかし、昇氏が亡くなる随分前には不義理を起こして出入り禁止になっていました。それが、昇氏が亡くなった途端、突然、昇氏の作品のプロデュースをやり始めました。昇氏が存命なら、ありえないことです。昇氏が既に鬼籍に入られたことをいいことに、勝手に安藤昇伝説をプロデュースする様には、当時をよく知る関係者一同、呆れています」

「ネットでは、ニック安藤が昇氏の長男だという風評がはびこっています。このような全く事実に反することを前提に、ニックに（昇氏に関する）仕事が依頼されることを黙って

見てられません。昇氏には、ニックよりも年上の息子が二人おり、すでに二人とも亡くなっています。大体、ニック安藤が本当に昇氏の子供であるかどうかすら分かりません」

「というのも、ニック安藤は、認知すらされていない可能性が高いのです。我々に言わせれば、昇氏の長男どころか子供ですらないくせに、昇氏と息子二人が亡くなった途端、まさに「死人に口なし」とばかり急に出てきて、勝手に映画製作をやっていることに納得できません。聞くところによると、いいお金にしているようですから尚更です(笑)」

「そもそも、映画等の権利については安藤企画という法人で管理してきた関係上、ニック安藤がこれらの権利関係を法的にクリアしているのかも怪しいです。いま当時の関係者が情報を集めており、必要であれば法的措置も考慮せざるをえなくなるでしょう。ニックと仕事をしている人も、ニックの言うことを鵜呑みにしていたら大変なことになりますよ」

「実は、ニックのプロデュースで昨年からシリーズ化している映画があります。これなんか「安藤昇追悼記念作品」と謳っていて、すでに 5 シリーズ目まで製品化されているようです。商業的には成功しているということでしょう。しかし、こんなことは、昇氏や長男・次男がご存命の頃には、絶対に考えられなかったことです」

「一部では、親子 3 人が亡くなったことをいいことに、ニックが勝手に映画制作で金にしているのではないかと危惧する声が上がっています。昇氏に関するメディアの著作権については法人で管理していたものも少なくなかったはずですが、当時の会社関係者には何ら連絡がありません。当時を知るものとしてみれば不可解でしかありません。制作会社（㈱オールインエンタテインメント（旧ミュージアムグループ）代表者中島仁）は権利関係について正確な調査を行ったのか？疑問に思うのも当然です」

安藤企画関係者の方々の思いは概ね以上と変わらないようです。伝説の男・安藤昇氏の生前を側近として支えた立場からすれば、納得できないのは当然でしょう。

以 上